

2019 年 度 S 級 一 次 審 査 会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	関東女子学生 カレッジスプリングキャンプ		
●日程	平成31年4月20日 (土)	～	平成31年4月21日 (日)
●会場	日本女子体育大学体育館(東京)		
●講師	非公表		
●スケジュール	平成31年4月21日 (日)		
	* 前日4/20(土)会場に入り、ゲーム観戦。 当日21日(日) 7:00 会場到着、更衣 8:00-9:15 PGC、ウォームアップ 9:30 実技 11:00 ミーティング(クルーのみ) 15:00 解散 19:30 帰宅		
●担当試合	平成31年4月21日 (日) 9:30 ～		
	対戦カード	早稲田大学	VS 大阪人間科学大学
	主審	CC: 阿部ちひろ氏(岩手)	U1: 松尾梨紗氏(神奈川) U2: 清瀬未喜
	講師／主任		
	講評	今回、講師によるミーティングは行っておりません。	
	自己の感想	早稲田も大人科も新入生を加えているため、出来る範囲で事前に情報を得て、クルーで共有し、そして前日に早稲田のゲームを見ることができ、イメージを持ってゲームに入れました。 今回、クルー間でのコミュニケーションが絶えず取れており、アイコンタクトやヘルプ、アシストがお互いに出来たことが一番良かったと感じています。ただ、その中でいくつか反省点、課題もあります。 2人でcallが鳴った時、エリアとアングルを持っていた私がよりプライマリであることをはっきりとパートナーに伝え、自信を持ってレポートに行くべき場面がいくつかありました。そこはゲーム後のクルー間でしっかり話をし、確認をしました。 また、センターサイドにボールが運ばれてきた際のローテーションのタイミングは、PGCでもしっかり確認をしていたので、大きなトラブルなく比較的スムーズに機能できたのですが、やはりまだ自身のcheck outがスムーズに出来ていないケースがあると感じたので、今後より意識して修正したいです。 インサイドのプレイが少し気になったので、ゲーム中クルーで話をしながら判定をしていきましたが、手の使い方(面の取り方)で、決断して笛を入れた方がよりクリーンになったのではないかとこのケースがあったので、チャレンジするべきでした。 プレイにアジャストする為の1歩2歩のこだわりを持った動きを意識することで、よりステイして堂々と判定できた場面がいくつかありました。 また、ゲーム運営に関して、TO終了後から再開までに少し時間をかけてしまい、円滑なゲーム運営が出来ていなかったのもっと心がけるべきだったと思いました。 この審査に向けて、自身の映像を見て勉強や他の方の映像、ルールの理解を深めることなど、自分なりに精一杯準備をし、本番に臨みました。そして何より周りの方にたくさんのサポートをして頂きました。本当に感謝申し上げます。 もちろん審査会なので独特な緊張感と雰囲気がある中でも、いかにいつも通り目の前のゲームに集中することができるかを重要視してコートに立ちました。 今回準備をしていく中でも、自身の弱点や課題も明確となったこともありました。この事を今後の審判技術向上にしっかり役立て、生かしていきたいと思いました。	